

## 患者さんへ

### 「急性期顔面神経麻痺診療における末梢性疾患の特徴と脳卒中との比較」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2021年5月～2023年4月までに当院の救急外来を受診され、診察時に顔面神経麻痺症状を認めた患者さん
2 研究目的・方法	<p>顔面神経麻痺の原因には様々な疾患の可能性が考えられますが、頻度として最も多いのはベル麻痺や Hunt 症候群などの末梢性顔面神経麻痺であります。これらは一般的に突然発症するケースが多いですが、急性期の診療においては脳梗塞、脳出血などによる中枢性顔面神経麻痺の鑑別が非常に重要であります。一般的に額のしわ寄せの可否でこれらの鑑別を行うことが可能と考えられてきましたが、超急性期の診療においては全ての症例を正確に鑑別するのは困難と考えられます。耳鼻咽喉科領域においては主に末梢性顔面神経麻痺の診断、治療を行うことが多いですが、脳梗塞、脳卒中などの中枢性顔面神経麻痺を正確に鑑別できなければ患者さんに不可逆的な後遺症を引き起こしてしまう可能性が高くなります。今回、上記の期間を対象に、救急外来を受診され、診察上顔面神経麻痺を認めた患者さんの特徴を評価し、より確実に中枢性顔面神経麻痺を否定できる鑑別点を見出すことを目的に研究を計画させていただきました。誤診を引き起こしやすい症例の発生頻度や両者の鑑別点を具体的に明確化することにより不可逆の後遺症を引き起こす可能性のある脳卒中の見落としを少なくすることが可能となると考えます。</p> <p>研究の期間: 施設院長許可(2023年7月予定)後～2024年3月まで</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	情報: 年齢、性別、受診時の収縮期血圧、受診形式(救急車受診、それ以外)、顔面神経麻痺の発症形式(額のしわ寄せの可否、口角下垂の有無)、随伴症状、既往歴 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

大平真也 湘南鎌倉総合病院 耳鼻咽喉科

神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2023年7月1日作成(第1.0版)